

各医療機関の具体的対応方針について

1. 概要・これまでの経緯

具体的対応方針とは、①2025年を見据えた構想区域において担うべき役割（病床機能）、②2025年に持つべき医療機能ごとの病床数を含む計画等であり、これまでの検討内容を踏まえて、本日の方向性としては下記4のとおりとしたい。

2. 各医療機関の病床機能および病床数

資料2-2のとおり

3. 各医療機関の地域での主な役割

医療機関名	地域での主な役割
市立長浜病院	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域での高度急性期医療の提供 ■ 地域の急性期から慢性期までの様々な段階の患者への対応 ■ 地域医療支援病院としての役割 ■ 地域がん診療連携拠点病院としての役割 ■ 一次脳卒中センターコア施設としての役割
長浜市立湖北病院	<ul style="list-style-type: none"> ■ 長浜市北部地域の急性期患者への対応 ■ 長浜市北部地域の急性期から慢性期までの様々な段階の患者への対応 ■ へき地医療拠点病院としての役割
長浜赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域での高度急性期医療の提供 ■ 地域医療支援病院としての役割 ■ 救命救急センターとしての役割 ■ 地域周産期母子医療センターとしての役割 ■ 地域災害拠点病院としての役割
橋場レディースクリニック	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域での分娩取扱い施設としての役割

4. 具体的対応方針(病床機能および病床数)合意の方針(事務局案)

現在の病床機能・病床数と地域医療構想における必要病床数に乖離はあるものの、地域における必要な医療を担っていただいております。本年度において①および②は合意とする。来年度以降、令和元年度湖北圏域地域医療構想調整会議で合意された再編イメージ図を基に、関係者間における具体的な議論を進め、急性期病床の過剰、回復期病床の不足等の課題の解決を図る。